

# 公園



## CONTENTS

IV-1	園路及び広場	154
IV-2	屋根付広場	160
IV-3	休憩所及び管理事務所	162
IV-4	野外劇場及び野外音楽堂	164
IV-5	駐車場	166
IV-6	便所	170
IV-7	水飲場及び手洗場	174
IV-8	掲示板及び標識	176
IV-9	改札口	178
IV-10	券売機	180



# 園路及び広場

基本的な  
考え方▶

高齢者、障害者等が円滑かつ安全に公園を利用できるようにするためには、出入口から園内の主な設備に至る通路、階段、傾斜路等に、その利用に配慮した整備がなされていなければなりません。また、必要に応じて、さく、視覚障害者誘導用ブロックなどによる転落防止措置も求められます。

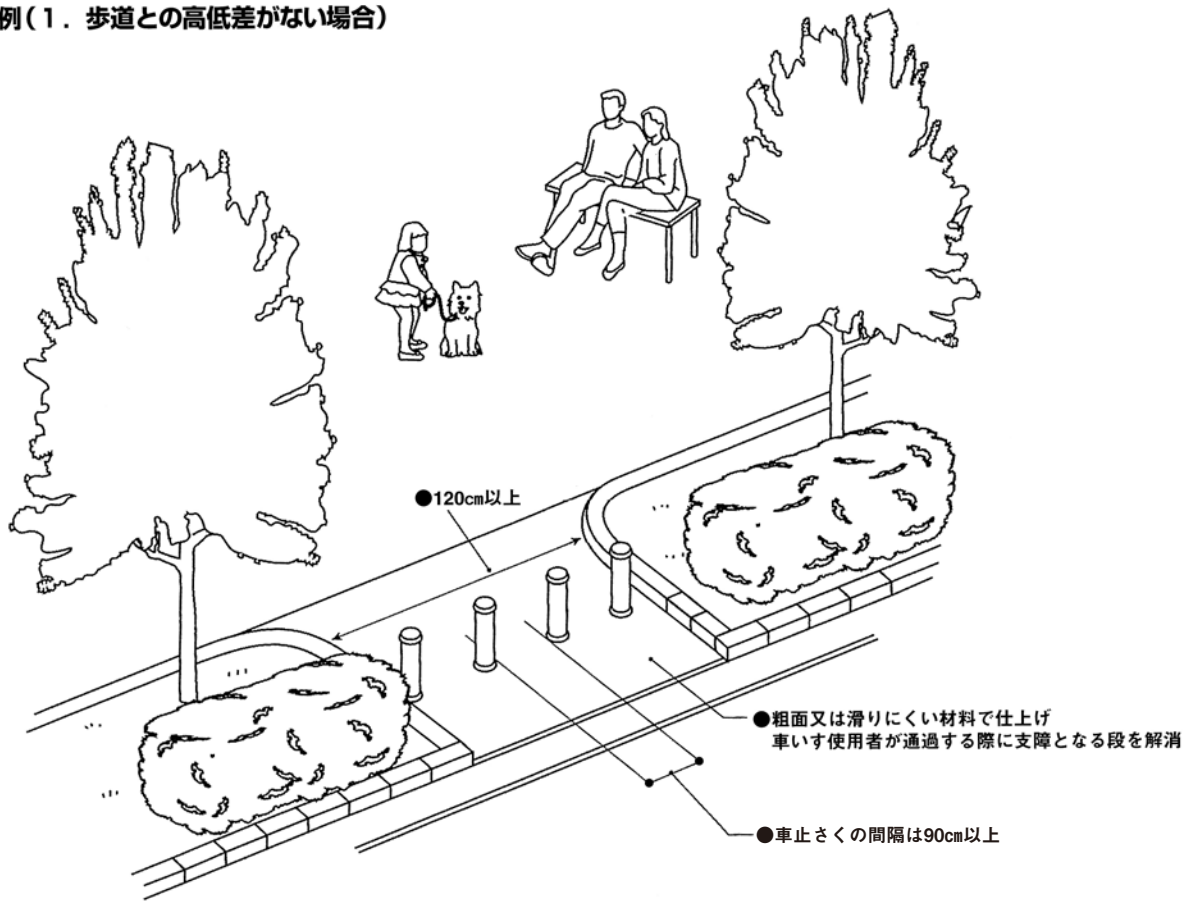
整備項目	整備基準	より望ましい基準
園路及び広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● さく、視覚障害者誘導用ブロック等による障害者、高齢者等の転落防止措置</li> <li>● 階段を設ける場合は傾斜路を併設（傾斜路が困難な場合は昇降機を併設）</li> <li>● 屋根付広場、休憩所及び管理事務所、野外劇場及び野外音楽堂、駐車場、便所、水飲場及び手洗場及びその他重要な公園施設への接続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続している公園施設の出入口手前に150cm×150cm以上の水平面確保</li> </ul>
出入口	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有効幅 120cm以上</li> <li>● 車止めの間隔 90cm以上</li> <li>● 150cm以上の水平部分の設置（地形の状況により設置できない場合を除く）</li> <li>● 段を設けない（傾斜路を併設する場合を除く）</li> <li>● 粗面又は滑りにくい材料による表面仕上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車止めを設ける場合、車止めの前後に150cm以上の水平部分の設置</li> </ul>
通路	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幅員 180cm以上（地形の状況により120cm以上でも可（通路の末端を車いすが転回できる広さとし、50m以内ごとに車いすの転回できる場所を設ける））</li> <li>● 段を設けないこと（傾斜路を併設する場合を除く）</li> <li>● 縦断勾配4%以下（地形の状況により8%以下でも可）</li> <li>● 3%以上の縦断勾配が30m以上続く場合は150cm以上の水平部分設置</li> <li>● 横断勾配1%以下（地形の状況により2%以下でも可）</li> <li>● 粗面又は滑りにくい材料による表面仕上げ、かつ平たん</li> <li>● 排水溝に設ける溝ぶたはつえ、車いす等の使用者の通行に支障のない構造</li> <li>● 縁石の切下げ部分の有効幅員120cm以上、縁石と園路面との段差2cm以下、すり付け勾配8%以下</li> <li>● 必要に応じた手すりの設置</li> </ul>	



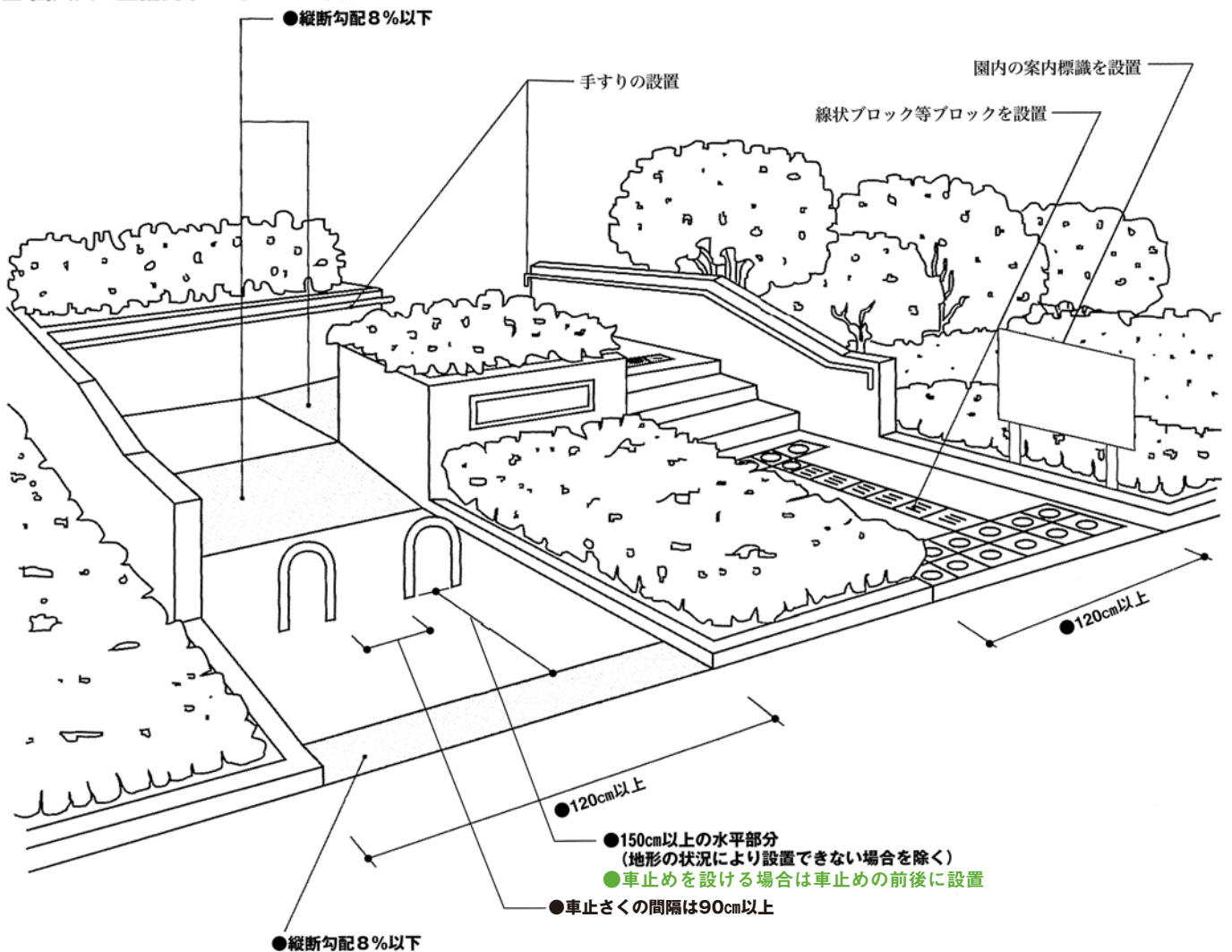
## IV-1 園路及び広場

●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

### ■ 出入口の整備例(1. 歩道との高低差がない場合)

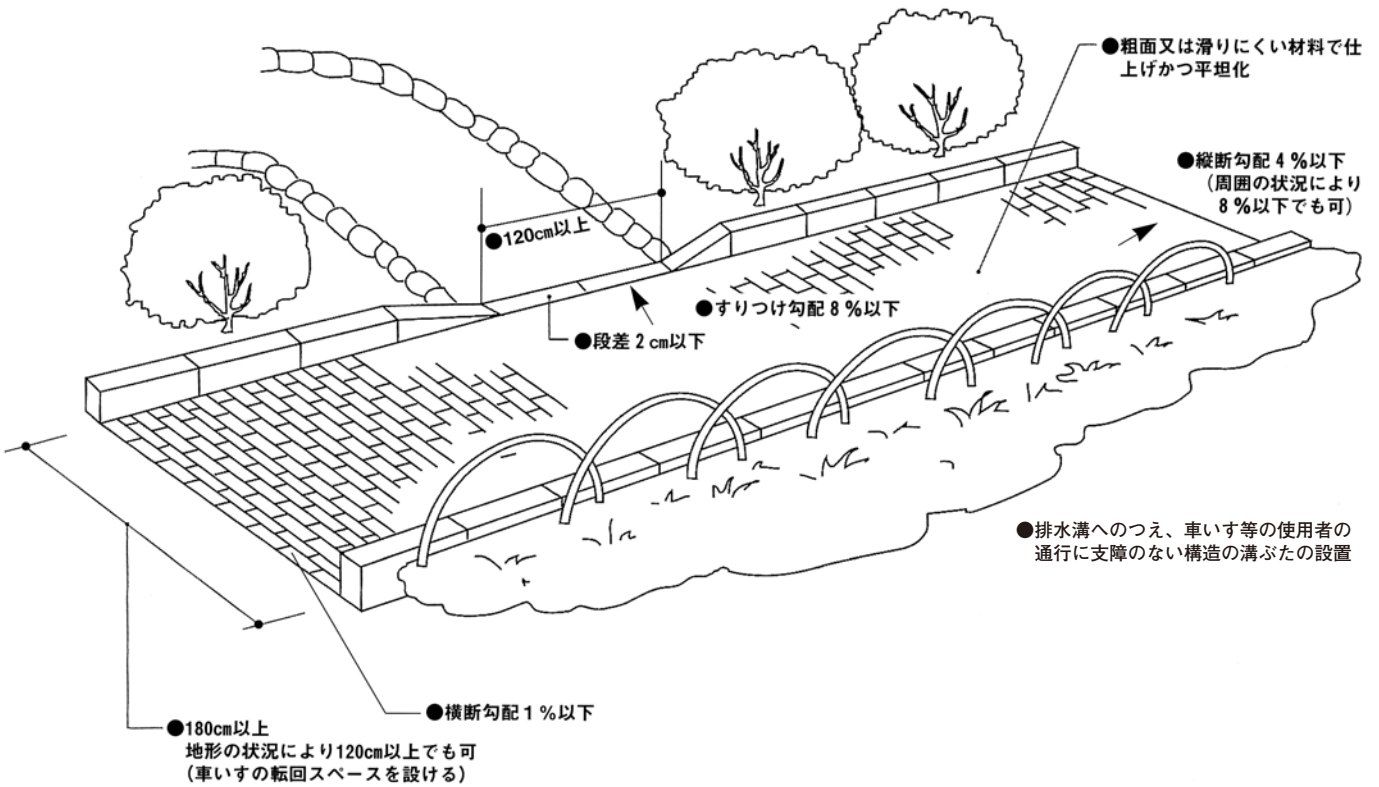


### ■ 出入口の整備例(2. 歩道との高低差がある場合)

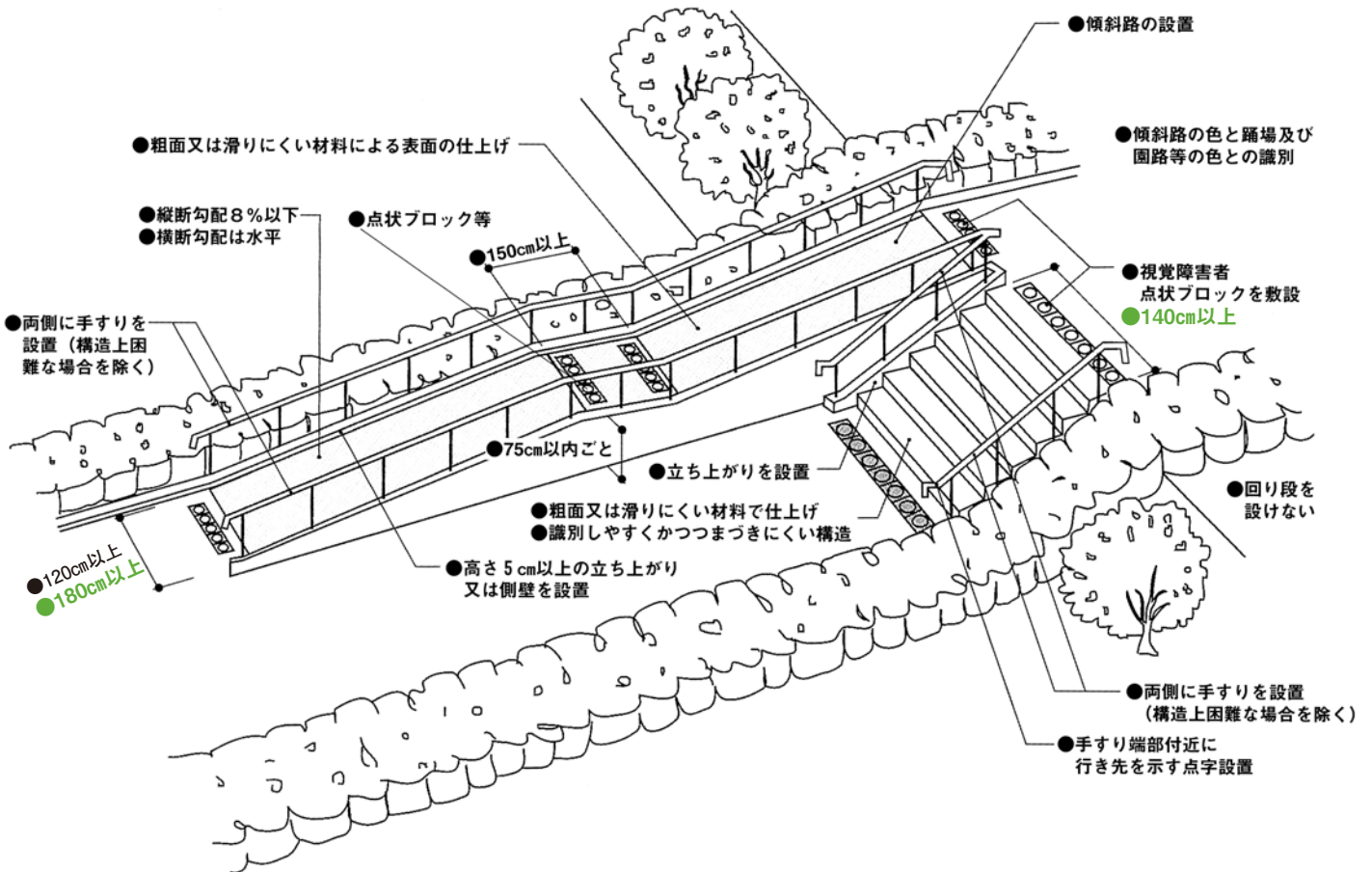


●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

■ 通路の整備例



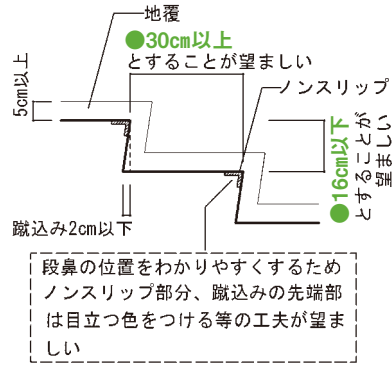
■ 園路に設けられる階段・傾斜路の整備例



## IV-1 園路及び広場

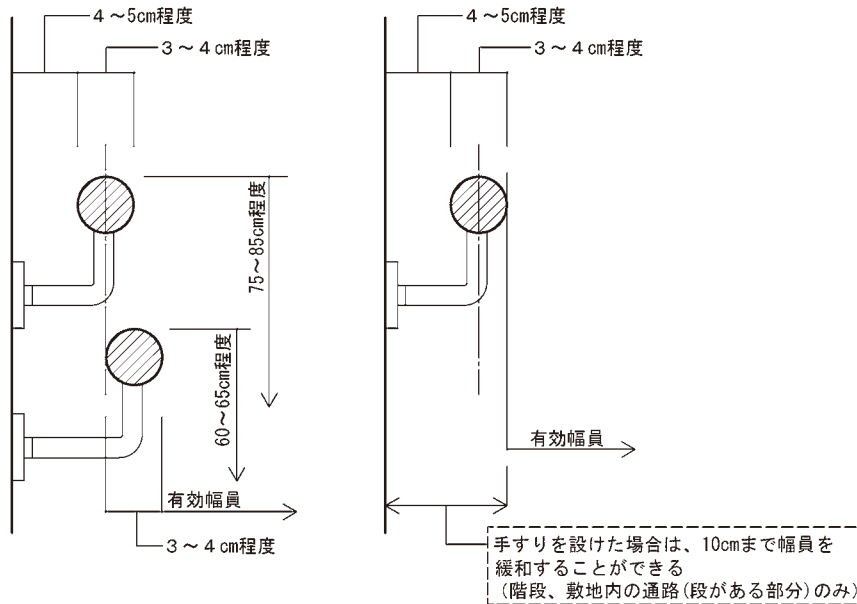
●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

### ■ 段の形状

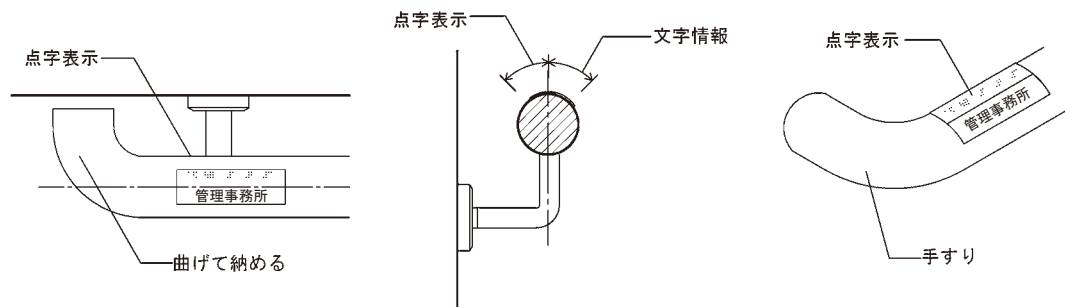


### ■ 手すり

#### 手すりと有効幅員



#### 手すりの端部と点字表示



(出典：「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」国土交通省（一部加工して使用）)







N-2

# 屋根付広場

基本的な  
考え方▶

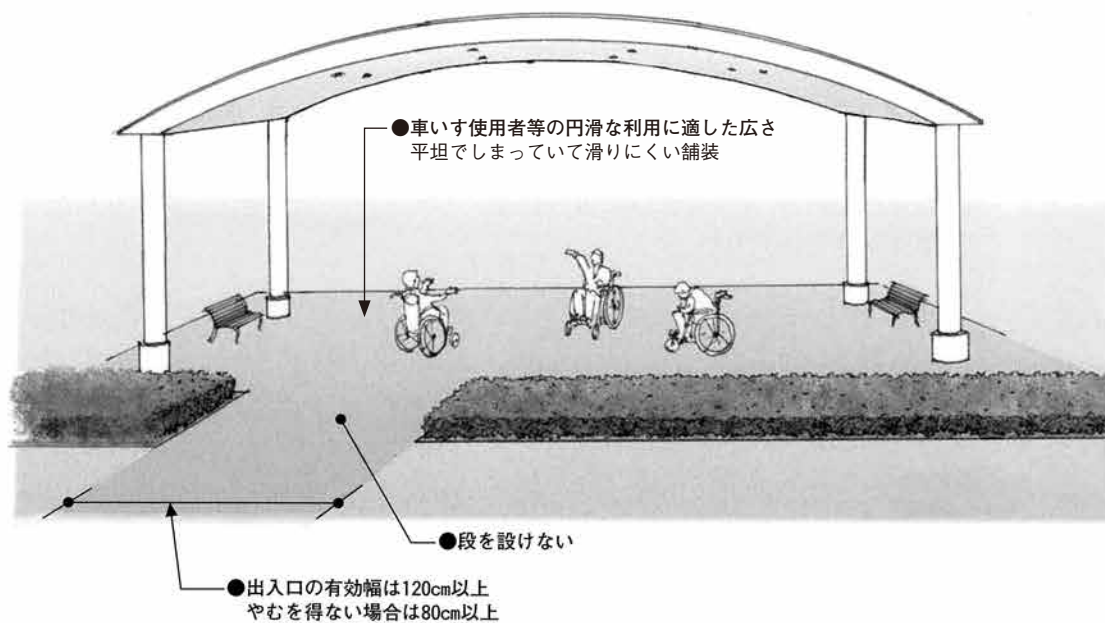
雨天時でも利用が可能であり、日陰のある休憩スペースとしても利用される施設であることから、出入口を広く設け、段差を解消するなど、高齢者、障害者等の円滑な利用に適したものとする必要があります。

整備項目	整備基準	より望ましい基準
屋根付広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出入口の有効幅120cm以上（地形の状況により80cm以上でも可）</li> <li>● 出入口に段を設けないこと（傾斜路を併設する場合を除く）</li> <li>● 車いす使用者の円滑な利用に適した広さの確保</li> </ul>	



●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

### ■ 屋根付広場の整備例



(出典：「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」国土交通省)



IV-3

# 休憩所及び 管理事務所

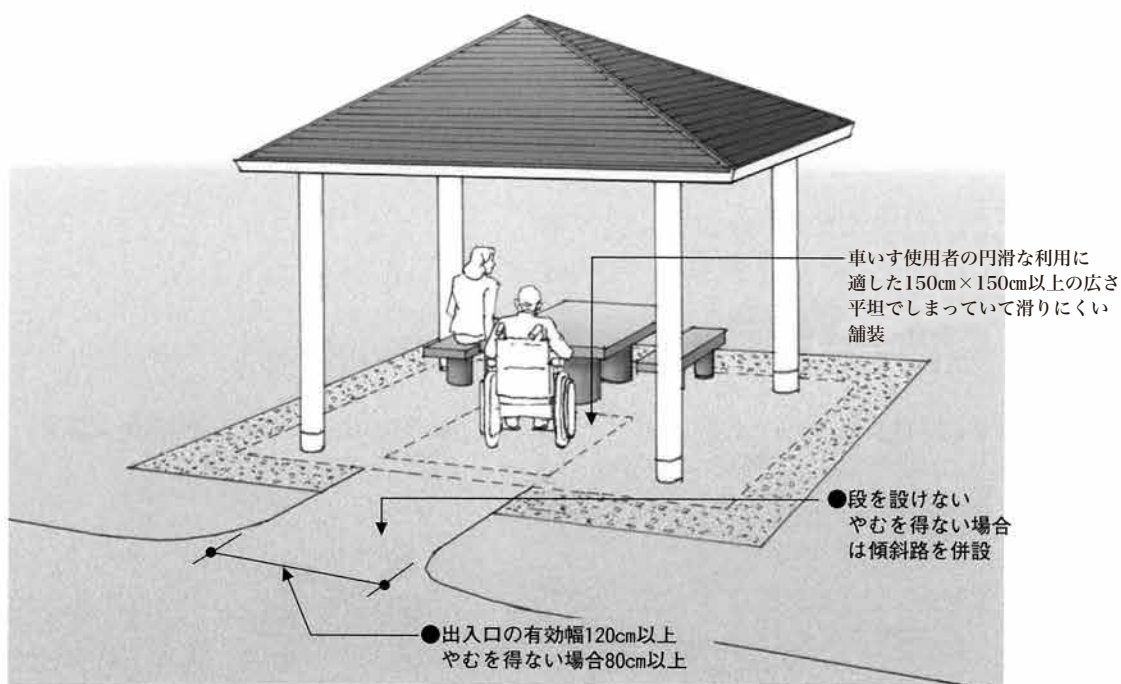
基本的な  
考え方▶

公園の利用は屋外が多く、大規模な公園では移動距離が長くなることもあることから、休憩所を設ける場合は、障害者、高齢者等が円滑に利用できるよう配慮が必要です。また、管理事務所は公園利用者の案内や利用手続きを行う施設であることから車いす利用者でも円滑に利用できるよう配慮が必要です。

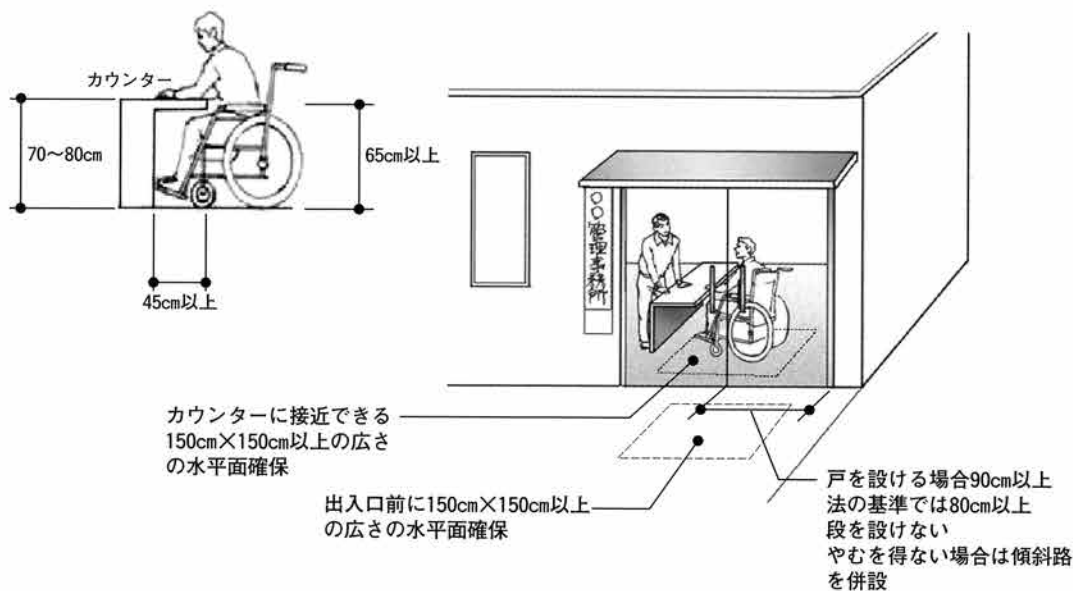
整備項目	整備基準	より望ましい基準
休憩所及び管理事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カウンターを設ける場合、車いす使用者の円滑な利用に適した構造</li> <li>●車いす使用者の円滑な利用に適した広さの確保</li> <li>●多数の者の利用に供する便所は、IV-6（便所）の基準に準ずる</li> </ul>	
出入口	<ul style="list-style-type: none"> <li>●有効幅120cm以上（地形の状況により80cm以上でも可）</li> <li>●段を設けないこと（傾斜路を併設する場合を除く）</li> <li>●戸を設ける場合、障害者・高齢者等が容易に開閉して通過できる構造</li> </ul>	

●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

■休憩所の整備例



■管理事務所の整備例



(出典：「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」国土交通省)



# 野外劇場及び 野外音楽堂

基本的な  
考え方▶

野外劇場・野外音楽堂は、障害者、高齢者等が座席まで円滑に到着し、観覧できるよう配慮する必要があることから、車いす使用者用観覧スペースを設けるとともに、出入口や通路の幅を確保することが必要です。

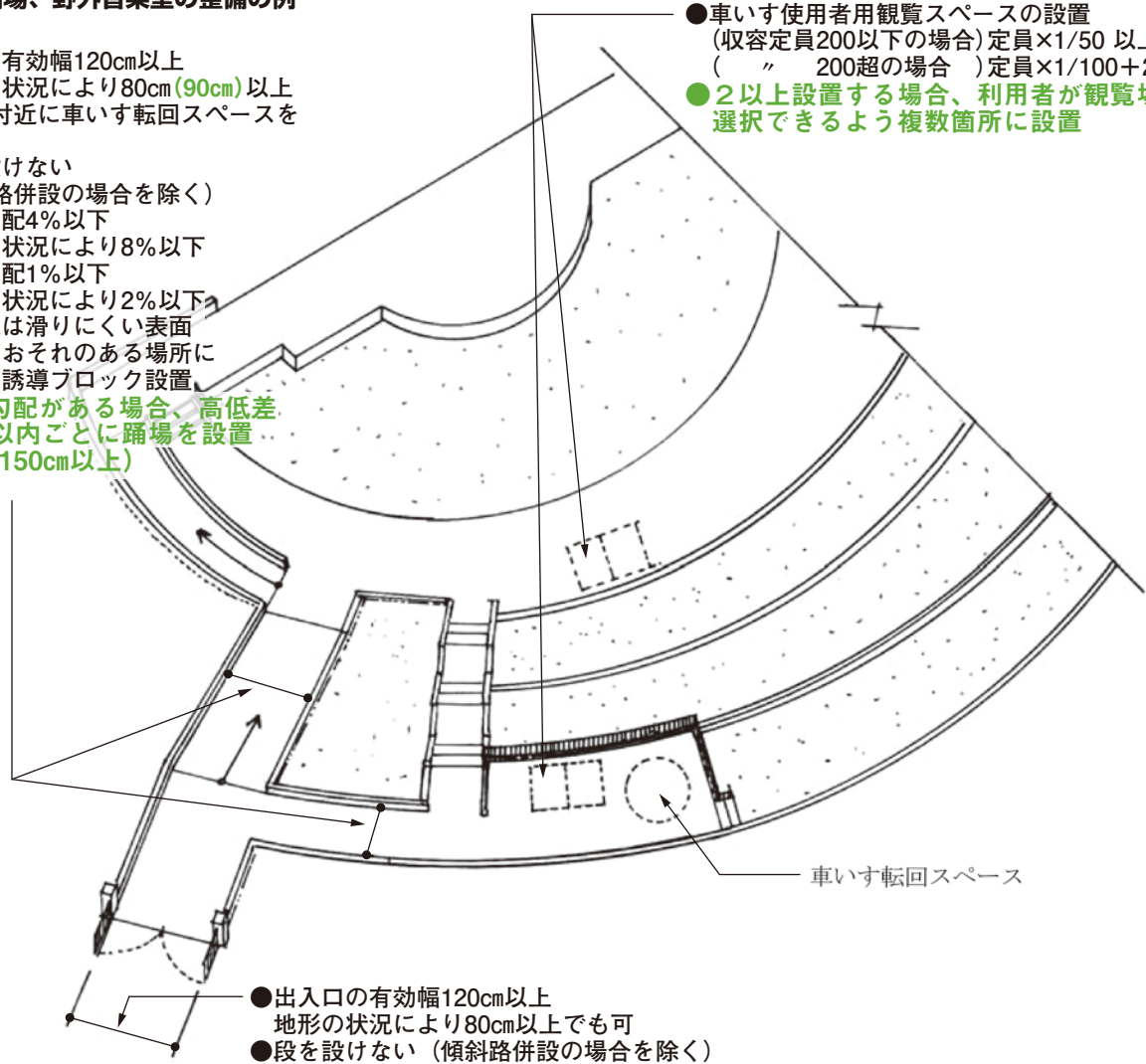
整備項目	整備基準	より望ましい基準
野外劇場及び野外音楽堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出入口の有効幅120cm以上（地形の状況により80cm以上でも可）</li> <li>● 出入口に段を設けないこと（傾斜路を併設する場合を除く）</li> <li>● 収容定員が200以下の場合<math>1/50</math>以上、200を超える場合は<math>1/100+2</math>以上の数の車いす使用者用観覧スペースの設置</li> <li>● 便所を設置する場合、IV-6（便所）の基準に準ずる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2以上設ける場合は複数箇所に設置</li> </ul>
車いす使用者用観覧スペース及び便所との間の経路を構成する通路	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有効幅120cm以上（地形の状況により80cm以上でも可（通路の末端を車いすが転回できる広さとする））</li> <li>● 段を設けないこと（傾斜路を併設する場合を除く）</li> <li>● 縦断勾配4%以下（地形の状況により8%以下でも可）</li> <li>● 横断勾配1%以下（地形の状況により2%以下）</li> <li>● 粗面又は滑りにくい材料による路面仕上げ</li> <li>● 障害者・高齢者等の転落を防止するための設備の設置（さく・誘導ブロック等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有効幅120cm以上（地形の状況により90cm以上でも可（通路の末端を車いすが転回できる広さとする））</li> <li>● 縦断勾配を設けた通路は高低差75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場設置</li> </ul>
車いす使用者用観覧スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有効幅90cm以上、奥行き120cm以上</li> <li>● 段を設けないこと</li> <li>● 車いす使用者の転落を防止するための設備の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 同伴者用座席の設置</li> </ul>

●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

### ■野外劇場、野外音楽堂の整備の例

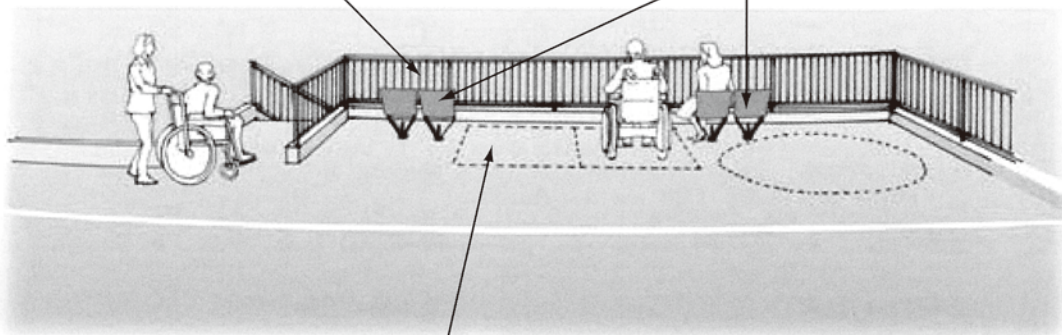
- 通路の有効幅120cm以上  
地形の状況により80cm(90cm)以上  
(末端付近に車いす転回スペースを設置)
- 段を設けない  
(傾斜路併設の場合を除く)
- 縦断勾配4%以下  
地形の状況により8%以下
- 横断勾配1%以下  
地形の状況により2%以下
- 粗面又は滑りにくい表面
- 転落のおそれのある場所に  
さく、誘導ブロック設置
- 縦断勾配がある場合、高低差  
75cm以内ごとに踊場を設置  
(踏幅150cm以上)

- 車いす使用者用観覧スペースの設置  
(収容定員200以下の場合)定員×1/50以上  
( " 200超の場合 )定員×1/100+2以上
- 2以上設置する場合、利用者が観覧場所を  
選択できるように複数箇所に設置



- 転落のおそれのある場所に  
さく等を設置

- 同伴者用座席の設置



- 有効幅90cm以上、奥行き120cm以上
- 段を設けない

(出典：「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」国土交通省)



# 駐車場

基本的な  
考え方▶

障害者、高齢者等の日常生活上の外出手段として、最も利用されているものが自動車です。そのため、施設に、車いす利用者用の駐車施設を設置することが必要です。また、駐車施設から施設の出入口等までの距離をできるだけ短くするとともに、安全性に配慮した経路を確保することも必要です。

整備項目	整備基準	より望ましい基準
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全駐車台数が200以下の場合1/50以上、200を超える場合は1/100+2以上の数の車いす利用者用駐車施設の設置</li> </ul>	
車いす利用者用駐車施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駐車施設へ通ずる出入口・園路又は広場に近接した場所への設置</li> <li>●幅350cm以上</li> <li>●見やすい方法による表示</li> </ul>	
車いす利用者用駐車施設から出入口等への通路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●粗面又は滑りにくい材料による表面仕上げ</li> <li>●段を設ける場合は下の「段」の基準に適合</li> <li>●排水溝に設ける溝ぶたはつえ、車いす等の使用者の通行に支障のない構造</li> <li>●幅員は120cm以上</li> <li>●50m以内ごとに車いすの転回に支障がない場合を設置</li> <li>●高低差がある場合、下の「傾斜路」の基準に適合する傾斜路、又は車いす利用者用特殊構造昇降機の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●180cm以上（段、傾斜路を除く）</li> </ul>
段	<ul style="list-style-type: none"> <li>●有効幅 <u>定めない</u></li> <li>●けあげの寸法 <u>定めない</u></li> <li>●踏面の奥行き <u>定めない</u></li> <li>●手すりの設置</li> <li>●回り段を設けない構造（構造上困難な場合を除く）</li> <li>●粗面又は滑りにくい材料による表面仕上げ</li> <li>●明度差等により段を識別しやすい配色</li> <li>●側面が壁でない場合の立ち上がりの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●140cm以上（幅10cm以内の手すりは有効幅に含む）</li> <li>●16cm以下</li> <li>●30cm以上</li> <li>●両側に設置</li> <li>●（ ）内緩和事項を適用しない</li> <li>●つまづきにくい構造の段鼻</li> </ul>



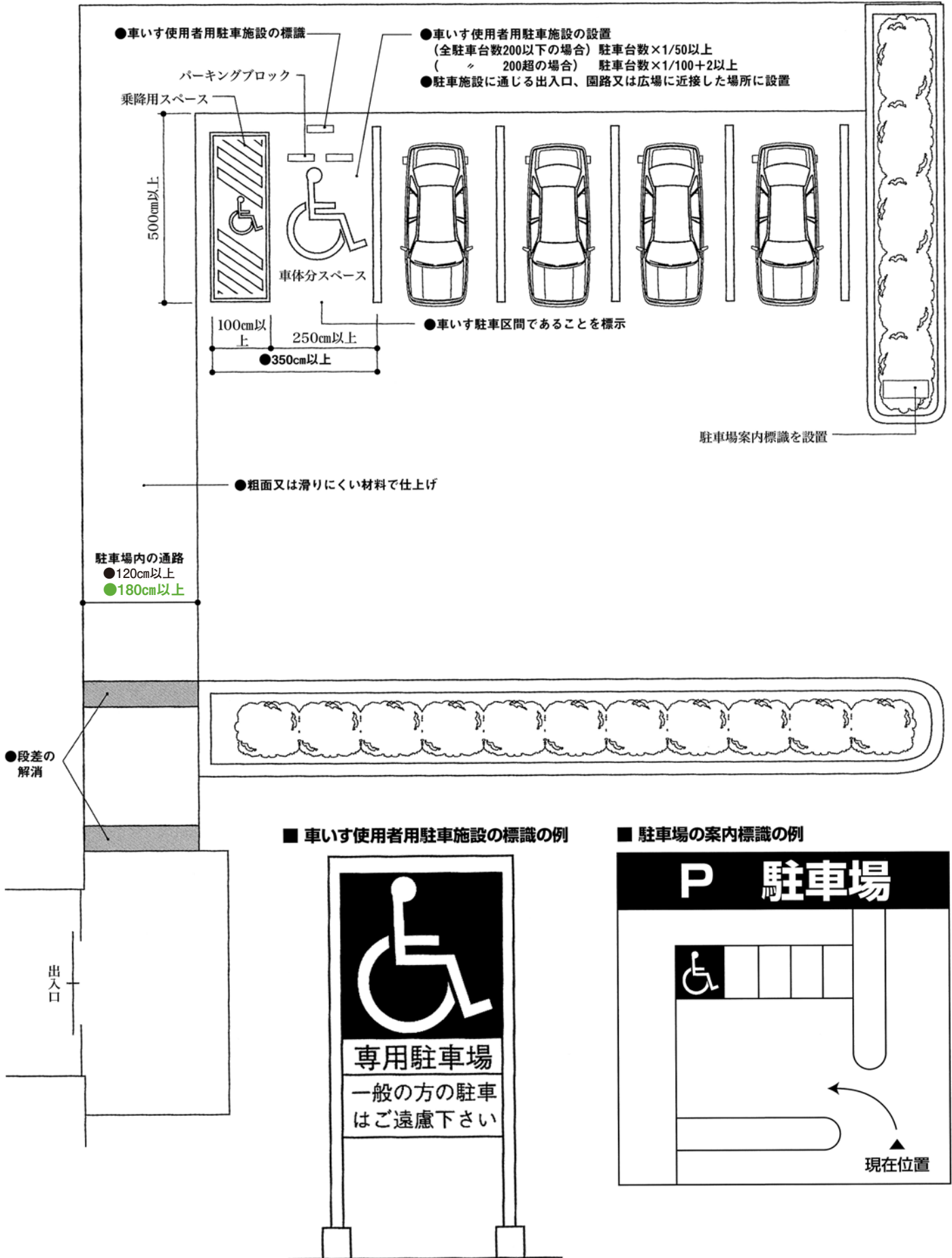
整備項目	整備基準	より望ましい基準
傾斜路	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幅員は<u>120cm以上</u>（段併設の場合90cm以上）</li> <li>● 勾配は<u>8%以内</u>（高さ16cm以下の場合<u>1/12以内</u>）</li> <li>● 高さが75cmを超える場合75cm以内に踏幅150cm以上の踊場の設置</li> <li>● 勾配が8%を超え、または高さが16cmを超えかつ勾配が5%を超える傾斜の部分への手すりの設置</li> <li>● 粗面又は滑りにくい材料による表面仕上げ</li> <li>● 縁端部に5cm以上の立ち上がり又は側壁の設置</li> <li>● 明度差等により傾斜路を識別しやすい配色</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 150cm以上（段併設の場合120cm以上）</li> <li>● 6%以内、（ ）内緩和事項は適用しない</li> <li>● 高さが16cmを超えかつ勾配が5%を超える傾斜の部分の<u>両側へ</u>の手すりの設置</li> </ul>



## IV-5 駐車場

●条例による整備基準、●より望ましい基準、●細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

### ■ 駐車場(車いす使用者用駐車施設)の整備例







## IV-6

## 便 所

基本的な  
考え方▶

障害者、高齢者等が積極的に社会参加できるような環境を整備するためには、車いす使用者等が利用できる便所を設置することが必要です。その際、車いす使用者等の利用に配慮するとともに、一般の便所と一体的に設けることなどにより、車いす使用者だけでなく、だれもが気軽に利用できる便所にするのが大切です。

整備項目	整備基準	より望ましい基準
すべての便所	<ul style="list-style-type: none"> <li>●濡れても滑りにくい材料による表面仕上げ</li> <li>●両側に手すりのある床置き式又は壁掛式（受け口の高さ35cm以下のものに限る）男子小便器の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者、高齢者等の円滑な利用に適した構造の便房（便所）の設置</li> </ul>
1以上の便所（男子用、女子用の区分がある時はそれぞれ1以上）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者、高齢者等の円滑な利用に適した構造の便房（便所）の設置</li> </ul>	
便房	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出入口の有効幅 80cm以上</li> <li>●出入口に車いす使用者が通過する際に支障となる段を設けない構造</li> <li>●容易に開閉して通過できる構造の出入口の戸</li> <li>●出入口に障害者、高齢者等の利用に適した構造の便房である旨の表示</li> <li>●車いす使用者の円滑な利用に適した広さの確保</li> <li>●腰掛便座、手すりの設置</li> <li>●障害者、高齢者等の利用に配慮した水洗器具の設置</li> </ul>	
水洗器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>●車いす使用者の利用に配慮した高さ</li> <li>●車いす使用者の利用しやすい下部空間の設置</li> <li>●両側への手すりの設置</li> <li>●操作が容易な水栓器具</li> </ul>	

整備項目	整 備 基 準	より望ましい基準
便所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出入口の有効幅 80cm以上</li> <li>● 出入口に車いす使用者が通過する際に支障となる段を設けない構造</li> <li>● 容易に開閉して通過できる構造の出入口の戸</li> <li>● 出入口に障害者、高齢者等の利用に適した構造の便房が設けられている旨の表示</li> <li>● 車いす使用者の円滑な利用に適した広さの確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害者、高齢者等の円滑な利用に適した構造の便房の前方に150cm×150cm以上の水平面の確保</li> <li>● 多数の者が利用する便所に車いす使用者用便房が設けられておらず、かつ、当該便所に近接する位置に車いす使用者用便房が設けられている便所が設けられていない場合には、当該便所内に腰掛便座及び手すりの設けられた便房を1以上設けること</li> <li>● 車いす使用者用駐車施設に近接する便所には、車いす使用者用便房を設置</li> </ul>

## 解 説

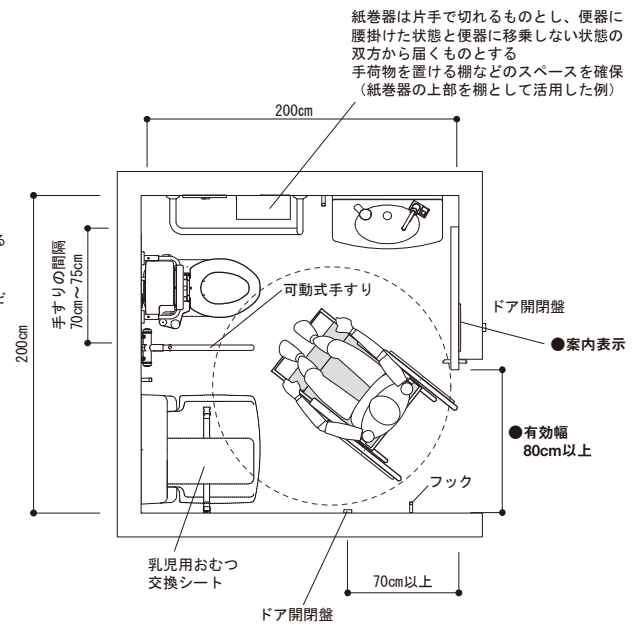
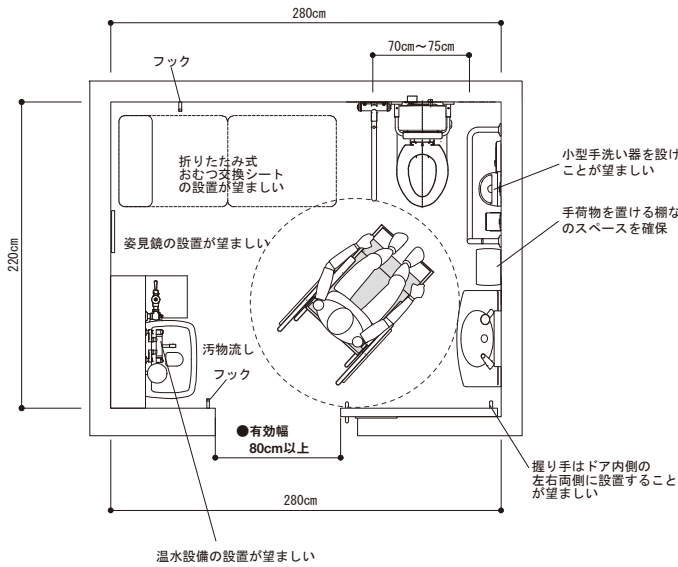
障害者、高齢者等の円滑な利用に適した構造を有する便房（便所）は、車いす使用者が円滑に利用できるだけでなく、内部障害者や乳幼児連れの場合にも円滑に利用できるように、オストメイト対応設備やベビーベッドの設置など、多機能化を図る必要がある。

## IV-6 便所

●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

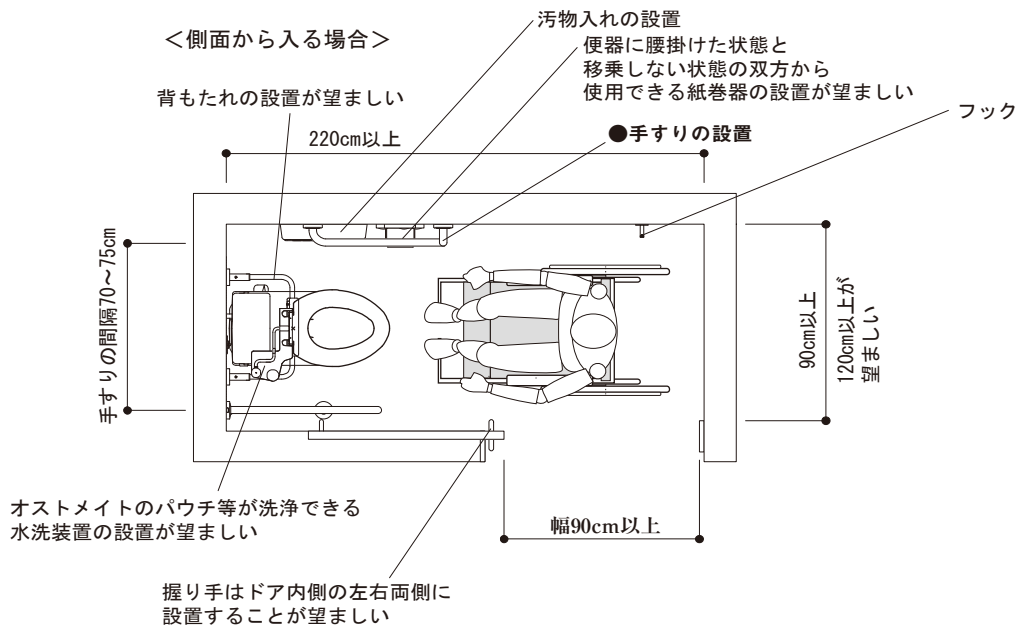
### ■ 多機能便房の例1

### ■ 多機能便房の例2



出典：「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン」引き出しの指針も含めて引用

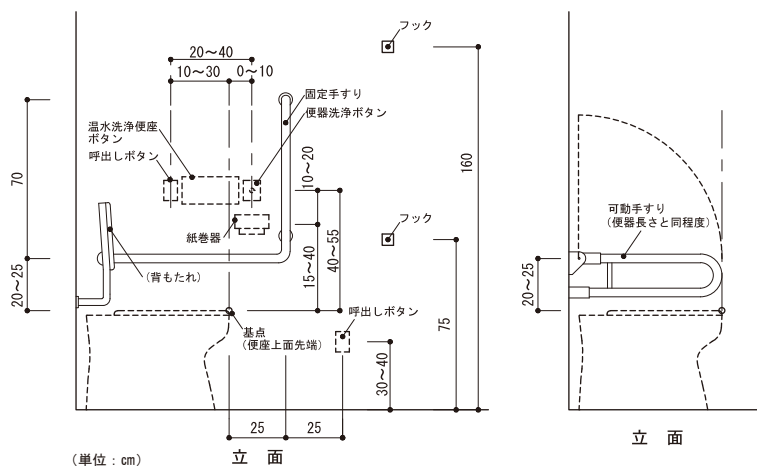
### ■ 簡易型多機能便房の例



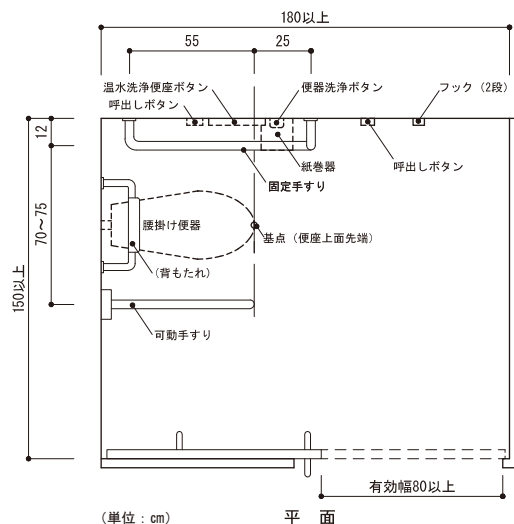
出典：「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン」引き出しの指針も含めて引用

●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

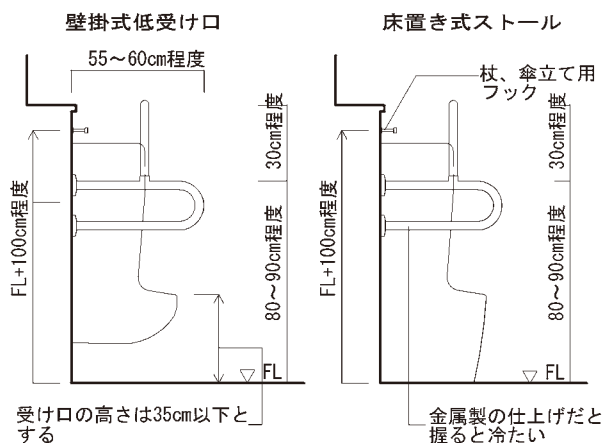
■ 車いす使用者用簡易型便房（縦入り）



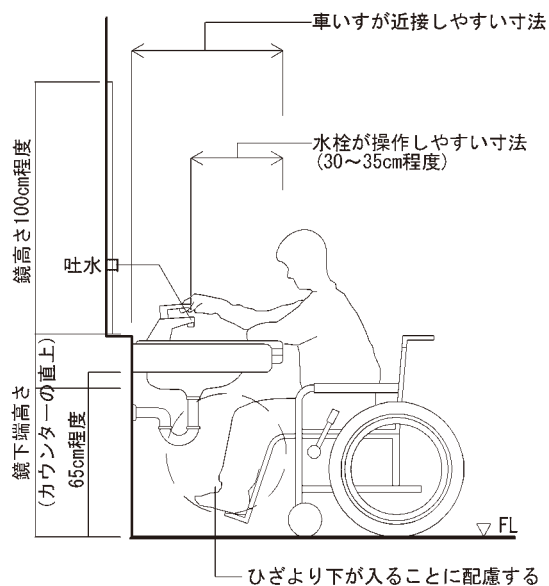
■ 車いす使用者用簡易型便房（横入り）



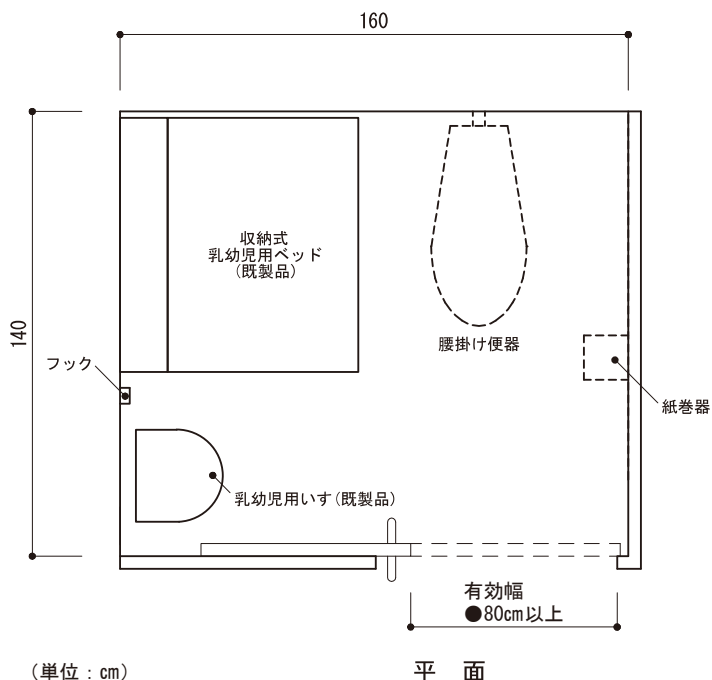
■ 小便器



■ 車いす使用者が利用しやすい洗面化粧台



■ 幼児連れに配慮した便房



(出典：「建築工事標準詳細図平成28年版」国土交通省)



IV-7

# 水飲場及び手洗場

基本的な考え方▶

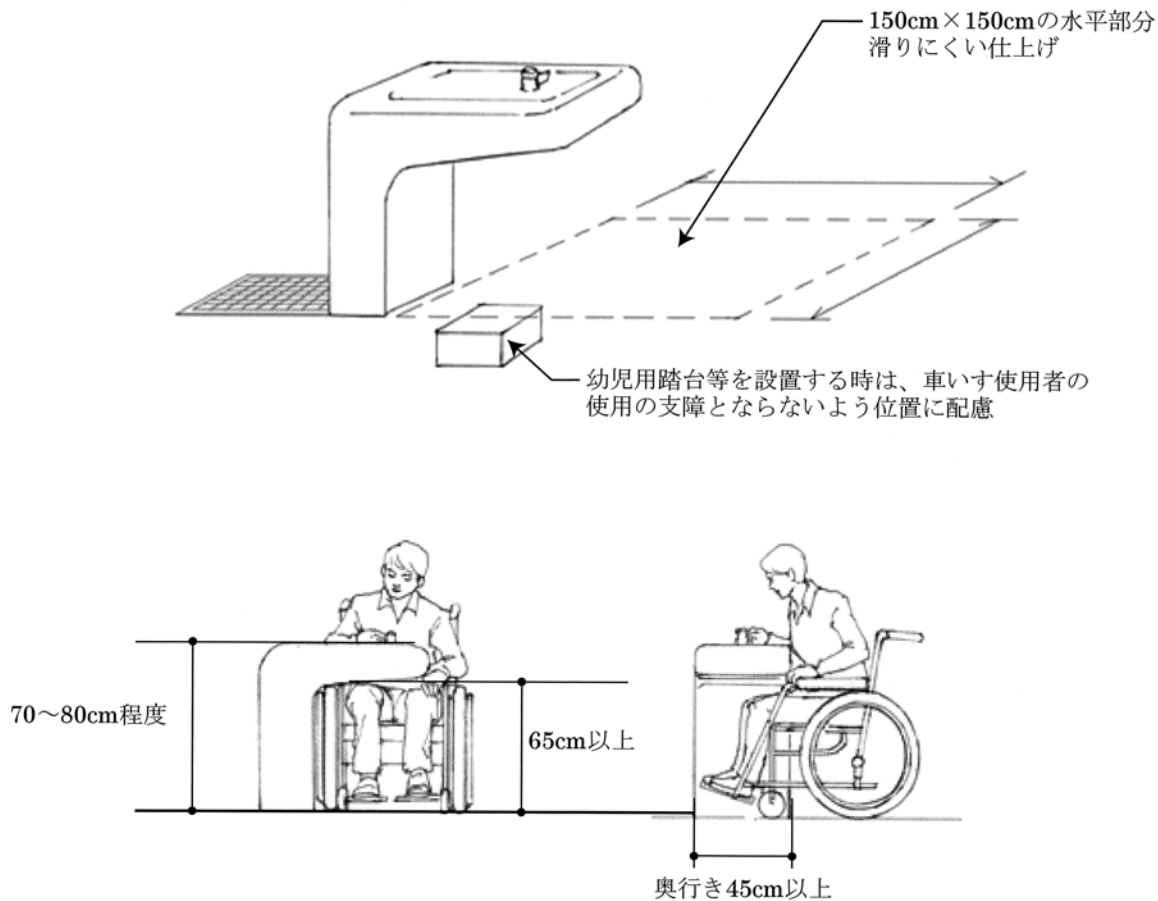
水飲場・手洗場を設ける場合は、車いす使用者でも近づきやすく、障害者、高齢者等が利用しやすいよう、飲み口までの高さ、形状等に配慮する必要があります。

整備項目	整備基準	より望ましい基準
水飲場及び手洗場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者、高齢者等の円滑な利用に適した構造</li> </ul>	



●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

### ■ 水飲場及び手洗場の例



(出典：「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」国土交通省)



IV-8

# 掲示板及び 標識

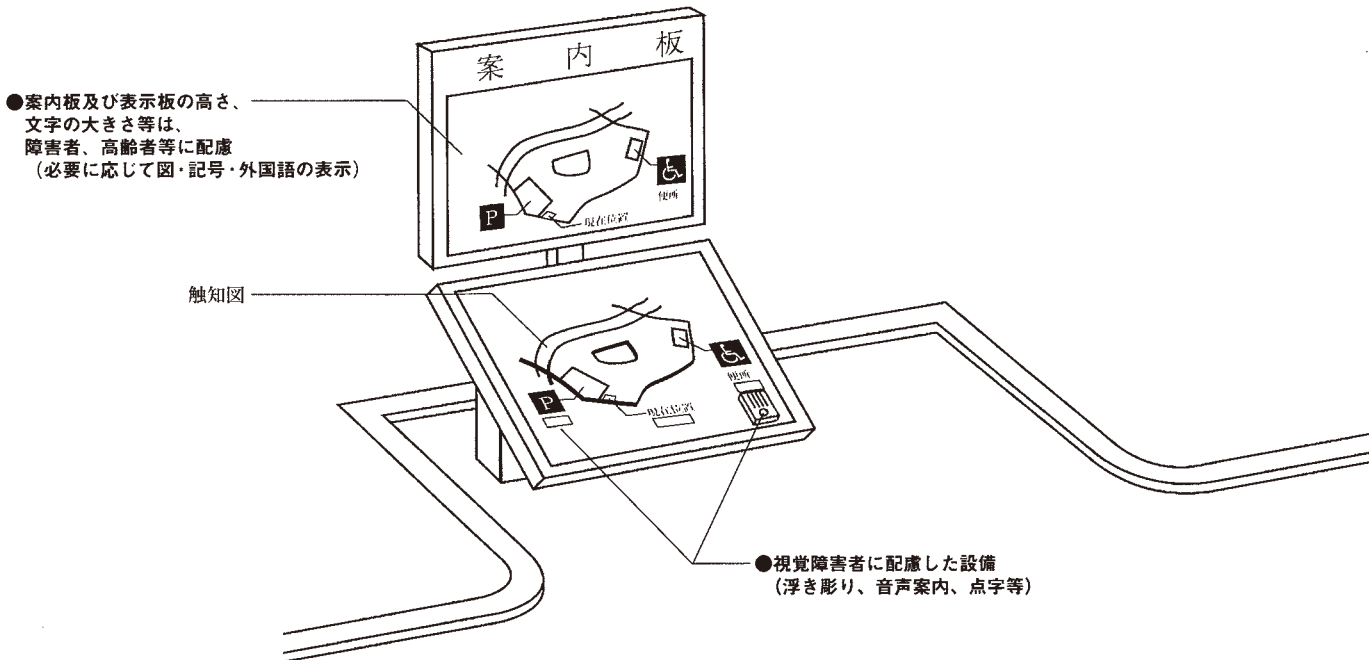
基本的な  
考え方▶

掲示板は、主としてイベントの告知等の一時的な情報提供を行うものであり、また、標識は、公園施設の配置や経路を示したり、園内外からの誘導を行うなど公園の利便性、安全性の向上を図る上で重要な施設であることから、障害者、高齢者等の利用に配慮した構造、表示とする必要があります。

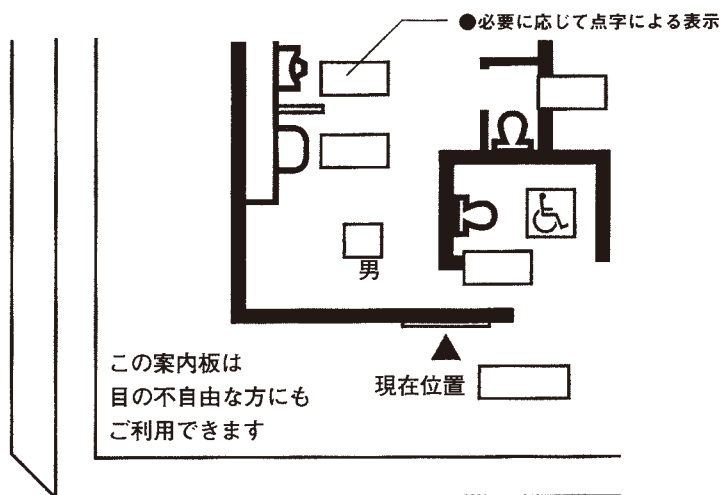
整備項目	整備基準	より望ましい基準
掲示板	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者、高齢者等の円滑な利用に適した構造</li> <li>●表示された内容が容易に識別できること</li> </ul>	
標識	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者、高齢者等に配慮した高さ、文字の大きさ</li> <li>●視覚障害者に配慮した設備（文字等の浮き彫り、音声による案内、点字等）の設置</li> <li>●主要な施設（IV-1～IV-8の基準に適合する施設）の配置を表示した標識を設置する場合は、園路及び広場の出入口付近に1以上設置</li> </ul>	

●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

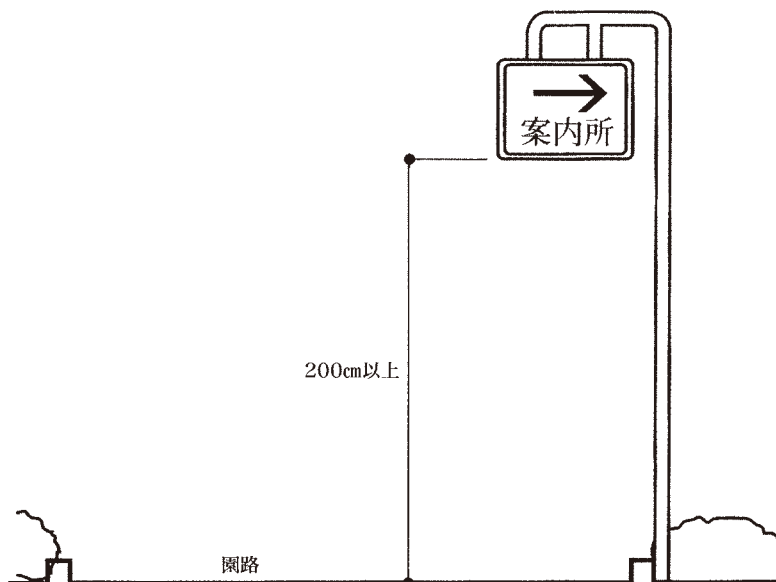
■案内板等の整備例



■触知図の例



■吊り下げ型案内板の下端高さ





IV-9

# 改札口



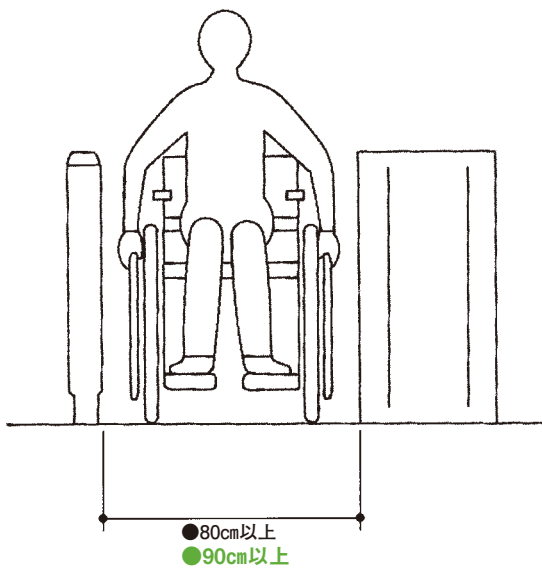
改札口は、車いす使用者が通過できるものとする必要があります。

整備項目	整備基準	より望ましい基準
改札口	<ul style="list-style-type: none"><li>●有効幅 <u>80cm以上</u></li><li>●段を設けない</li><li>●自動改札機を設ける場合は、進入の可否を容易に識別できる方法で表示</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●90cm以上</li></ul>

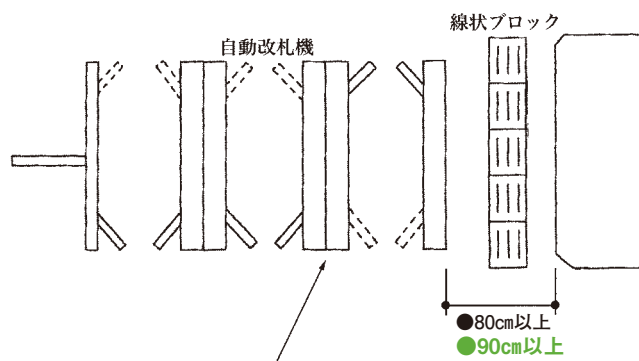
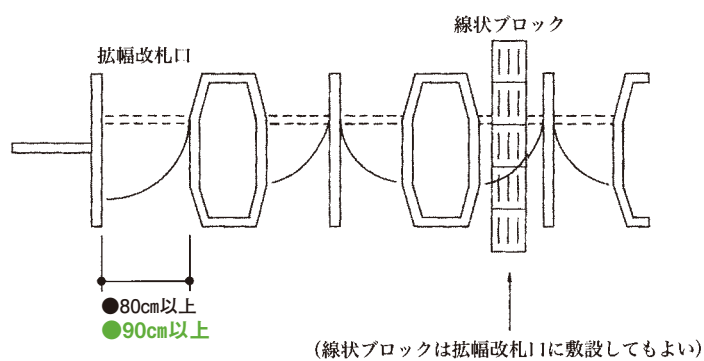
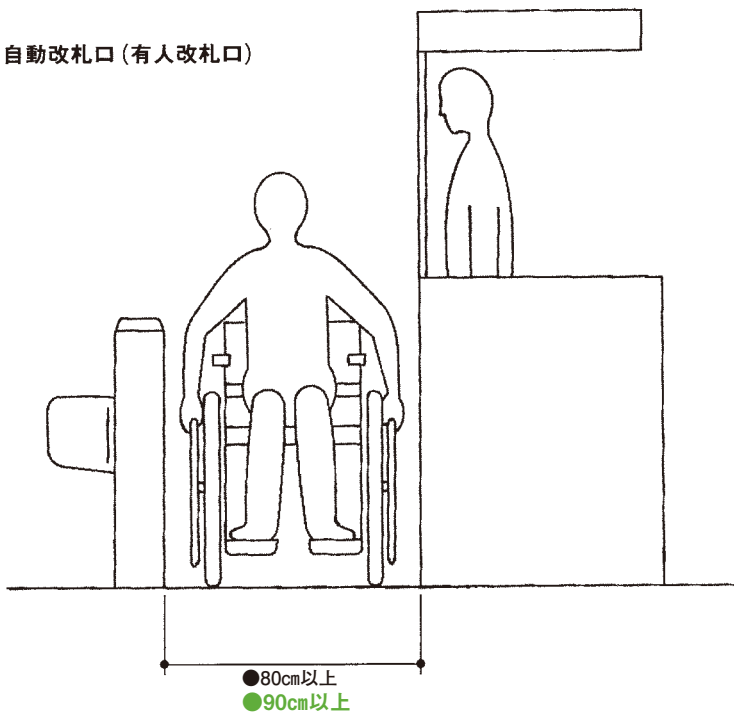
●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

■改札口の配置例

有人改札口



自動改札口 (有人改札口)



●自動改札機には、進入の可否を容易に識別できるように表示



N-10

# 券売機



券売機は、車いす使用者及び視覚障害者の利用に配慮したものとする必要があります。

整備項目	整備基準	より望ましい基準
券売機	<ul style="list-style-type: none"> <li>●車いす使用者の利用に配慮した金銭投入口及び操作部分の高さ等</li> <li>●金銭投入口、操作部分、操作方法について、視覚障害者に配慮した設置（文字等の浮き彫り、音声による案内、点字等）の設置</li> <li>●前方又は横方向に水平スペースの確保</li> </ul>	

■ 車いす使用者の利用に配慮した高さ及び下部空間の例

